

# なかいぬま 中井沼のカツパ

文と絵 吉川市国際友好協会

むかし昔 中井沼という それ  
それは大きな沼がありました  
その広さと 言ったたら十五町歩ほど  
もあつたそうです

水辺には ヨシやマコモが生い茂  
り 水面はヒシでびっしりと覆わ  
れ その中を カモやモグッチョ  
たちが 行き来していました

水の中では フナやコイ ウナギ  
やナマズがいて 村人たちは そ  
れらを 舟で獲っていました  
ヨシキリやオオジュリンなどが  
朝から晩までさえずる 自然いっ  
ぱいの沼でした

※モグッチョ：水鳥（水辺に棲む鳥）

お話の続きは、吉川むかし  
ばなし第2集をご覧ください！



この のどかな中井沼には 沼つ  
小僧 という 大きなカツパが  
棲んでいたそうです

沼つ小僧は夜になると 沼から出  
てきては 悪さをするので 村人  
たちは困っていました

ある夜のこと  
沼つ小僧が沼から出てきて キョ  
ロキョロあたりを見まわすと  
さな舟が 浮かんでいました  
「こりゃ なんだあ ふーん こ  
こを引っ張ってみるか」

## お話の舞台となった場所



新栄1、2丁目は現在は住宅街  
になっています



中井沼公園(新栄2-16-2)

中井沼は新栄1、2丁目から中井沼公園に広がる、広さ約  
15ヘクタールの沼でした。(東京ドーム約3個分※赤線が  
おおよその範囲)



絵「中井沼のカツパ」より